

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol 209
2019.6.30

特集

Raymond Renovation
Projectの進捗状況



NANZAN
UNIVERSITY

Raymond Renovation Projectの進捗状況

レーモンド・リノベーション・プロジェクトの進捗状況をご紹介します。



人工芝グラウンド完成

2019年3月、学生が授業や課外活動で使用しているグラウンドの人工芝整備が完了しました。鮮やかなグリーンの人工芝に描かれたコミュニケーション・ロゴと、スクールカラーのブルーを採用した陸上練習用トラックや応援スタンドが特徴的です。遮熱型の人工芝と充填材であるゴムチップがクッション性を高めるなど、安全性も重視しています。

人工芝グラウンド完成記念セレモニー

2019年3月30日、人工芝グラウンド完成記念セレモニーを開催しました。

始めに、G30教室で人工芝グラウンドが完成するまでを記録したムービーを鑑賞し、鳥巣学長の挨拶の後、松岳同窓会長、木村後援会理事長、武鹿体育会OB会長、学生を代表して豊田体育会執行委員長からご挨拶をいただきました。

その後、人工芝グラウンドで、応援団によるエキシビジョン、陸上部(対名城大学戦)とラクロス部男子・女子(対名古屋大学戦)による記念試合が行われました。結果は、陸上部、ラクロス部男子・女子いずれも見事勝利し、記念セレモニーに花を添えました。



学生セミナー室・学生ロッカー整備

各学部にて1学年分の学生を収容できるセミナー室の整備を進めています。これまでにF棟・J棟・K棟・M棟の整備が完了し、2019年4月より運用を開始しました。教員による学生指導や演習はもちろん、授業以外での自主学習やグループ学習、プレゼンテーションの準備など、学生の主体的な学びの場として活用されています。N棟および第2研究室棟は2019年9月に整備完了予定です。

また、その他各学部の3学年分の学生には1人1台専用のロッカーを整備し、2019年4月より運用を開始しました。引き続き、学生生活がより充実するようにキャンパス整備を進めて参ります。



シャーロット・レーモンド氏ご来学

2019年3月11日、本学キャンパスの設計者である建築家アントニン・レーモンド氏のご令孫で写真家のシャーロット・レーモンド氏をご来学されました。

日本のレーモンド建築の見学やご講演のために来日され、本学にもお越しいただきました。キャンパス内を見学・撮影された後、本学のレーモンド建築などについて鳥巣学長とご歓談されました。

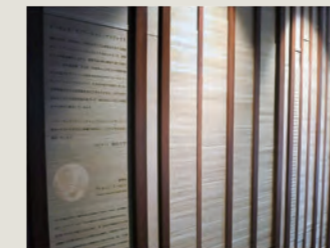


Topic

レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金のご協力をお願い

南山大学では、レーモンド・リノベーション・プロジェクトの推進にあたり、卒業生や保護者の皆さまをはじめ、広く地域社会の皆さまにご支援をお願いさせていただくために、「レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」を実施しております。この募金でいただきましたご厚志は、歴史ある

レーモンド建築を次の時代に受け継ぎながら、キャンパスアメニティを改善し、学生生活環境や学習環境を充実させるために活用させていただく予定です。皆さまからのあたたかいご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



H棟に設置した木製の寄附者銘板

【募金概要】

募集期間：2018年7月1日～2022年3月31日

目標額：3億円

寄附特典として、オリジナルグッズの進呈や寄附銘板の作成および学内への配置を実施しております。

詳しくは南山大学公式Webページでご確認ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/raymond/bokin/index.html>

お問い合わせ先：南山大学学長室 052-832-3113



私の研究



SEAN O'CONNELL (シオン オコネル)
総合政策学部 総合政策学科 教授
専攻分野は、異文化間ビジネスコミュニケーション学。
研究テーマは、異文化間コミュニケーション、多文化共生職場のコミュニケーション。
主な担当科目は、総合政策英語、言語と文明、文化の比較、異文化コミュニケーション論、INTERCULTURAL BUSINESS ANALYSIS。

思疎通が重要になってくるといいます。

そこで、言葉と親密な関係を持つ文化背景(価値観、習慣、考え方、ものの見方、行動など)を探りながら、多文化共生職場における組織のポリシー・メイキングを主に検証しています。また、日本人が今後働き得る多文化共生的なビジネス社会において、どのようなポリシー(組織コミュニケーションルールや対策など)が必要になるか、異文化対応力の社員研修はどうあるべきか等をテーマとして研究活動をしています。真の異文化間コミュニケーションは、他者の特徴を把握し、それに合わせることはありません。自分自身のことをよく知ることによって、どういう風にして譲り合えるかが見えてきます。その譲り合い方について研究を続けながら、学生の異文化対応力(Cultural Intelligence)が高まるように、担当授業を通してノウハウを伝授できるように日々努力しています。

真の異文化間コミュニケーションとは

私の研究領域は異文化間ビジネスコミュニケーション学(Intercultural Business Communication)です。その分野を背景に、特に日本人と外国人からなる多文化共生職場のコミュニケーションを基本テーマとしています。日本社会は少子高齢化が進み、着実に人口減少に至っており、労働人口の減少など様々な問題に直面しています。ビジネスにおいても、今後海外進出はもちろんのこと、日本国内においても人材のグローバル化が予想されています。したがって、外資系企業のみならず、日系企業でも外国人と同じ職場で働く機会が増えるに違いありません。その中で、日本人社員にとっては、日本人同士だけでなく、外国人スタッフとの意



私のクラス



吉田 早悠里 (よしだ さゆり)
国際教養学部 国際教養学科 准教授

専攻分野は、文化人類学、北東アフリカ地域研究。
研究テーマは、近現代の社会変動と人間の営み、他。
主な担当科目は、文化人類学A、民族学、民族問題と人間の尊厳、多元文化論。

知的好奇心を刺激する

私は、文化人類学を専門とし、北東アフリカに位置するエチオピアをフィールドとしています。

私が担当している授業科目のなかで、ここでは「文化人類学A」について紹介します。文化人類学は、「人間とは何か」という問いを掲げ、さまざまな地域に暮らす人類の普遍性と多様性を解明しようとするとともに、他者理解を通して自己理解を深めることを目指す学問分野です。

この授業は、アクティブラーニングを取り入れて授業中に学生が発言する機会を設けています。例えば、言語と認識をテーマとした講義の時には、ウシの写真

を見ながら、ウシの模様をどのように表現するのか、学生に意見を聞きます。すると、学生たちは「茶色」「こげ茶色」などと表現します。時には、ユーモアのある表現をする学生も。しかし、全体が茶色で尻尾にだけ白い斑をもつウシの場合はどうでしょう。さらに、白い斑の位置が異なる場合、その違いをどのように表現できるでしょうか。多くの学生が、上手く説明できず困惑します。そこで、エチオピアに暮らす牧畜民が、ウシの複雑な模様を自然現象と関連づけて、わずか1単語で表現することを紹介すると、学生たちからは驚きの声があります。言葉には、それぞれの文化がもつ習慣や認知様式が反映しているということを体験するからです。

学生が実際に体験し、自分の頭で考えて理解する。そのために、知的好奇心を刺激するのが私の授業でのモットーです。



ウシの色の違いを、どのように表現しますか？



INTERNATIONAL FRIENDSHIP



アメリカでの交換留学

外国語学部英米学科4年 川瀬 晴那
留学先: Indiana University, Bloomington (アメリカ合衆国)
留学種別: 交換留学
留学期間: 2018年8月15日~2019年5月3日

私は、アメリカ合衆国のインディアナ大学ブルーミントン校に留学していました。すべて英語で行われる授業についていくことは思っていた以上に大変でしたが、これまで受講したどの授業も興味深く知識と英語力の向上を感じています。その中の一つに、ゼミ関連で選択した第二言語習得論のクラスがあります。私自身が英語を第

二言語として学んでいる立場で、その授業で学んだことを自分の経験と照らし合わせることができることや、留学生のみのスピーキングのクラスで自分とは異なる母国語をもつクラスメイトと英語で授業を受けて、その授業で学んだ知識を実際に自分の目で確かめる機会があることで、よりこの分野についての関心が高まりました。アメリカで学んだからこそ知ることのできた側面があり、とても面白いと感じました。春休みには、スピーキングのクラスで仲良くなった香港からの交換留学生の子と一緒にニューヨークへ旅行に行きました。美術館でお互いの国の作品について話したり、中華料理と日本料理のレストランに行ったりして、ニューヨークの街を楽しむと同時に中国の文化についても知ることができ、とても楽しい思い出になりました。

この留学は私にとって、異文化を知ることや英語のスキルを伸ばすことだけでなく、自分の生まれ育った日本について考えたり、自分自身について見つめ直したりする

きっかけになりました。誰もが経験できるわけではない長期間の留学経験で感じた自分なりの目線を大切にしながら、日本の良さを発信できるような仕事に就いて社会に貢献したいと考えています。大学を卒業して就職すると、これほど長期間自分のやりたいことに時間を費やすことは難しくなると思います。私は、この学生時代に留学という挑戦ができ、そして素晴らしい経験ができたことを決して忘れません。



キャリア支援室 プログラム紹介

キャリア支援室では毎年多彩なプログラムを実施しています。「キャリアサポートプログラム」は、特に低年次生の参加を推奨していますが、すべての学年の方が参加可能です。また、学部3年次生と大学院修士1年次生向けには、「就職支援プログラム」を実施します。学生の皆さんは、積極的に参加してください。

キャリアサポートプログラム

学部・学科別学び方講座(1年次生対象)

4月から6月にかけて、新入生対象の「学び方講座」を実施しました。各学科の教員から大学での授業の進め方や卒業後の進路などの説明をうけ、学生は自らの大学生活での具体的な目標や課題設定を行いました。

希望進路別ガイダンス

[就職(民間)、就職(公務)、進学(文系)、進学(理系)]

4月から5月にかけて、1・2年次生を対象に希望進路の実現に向けて大学生活をどう過ごすかを考えるための講座を実施しました。4回に分けて行われた「希望進路別ガイダンス」では、南山大生の進路実績や南山大学の支援体制のほか、学内外の講師を招き、幅広い情報提供を行いました。

インターンシップサポート

[ガイダンス(文系・理系)、選考対策、ビジネスマナー]

5月から6月に向け、インターンシップの活用方法や参加するうえで必要なマナーを学ぶ講座を実施しました。参加学生はインターンシップの意義や参加手順について理解を深め、実習時や社会に出てからも役立つビジネスマナー等身につけました。

卒業生に聞いてみよう!

9月には、各界で活躍する卒業生をお招きし、社会人としてのやりがいや生きがい、学生時代の体験等を伺う講座を実施します。

★第3クォーターには、実践・体験プログラムで自らの適性・強み・弱点を知る「テーマ別ワークショップ」や、業界・職種について理解を深める「業界・職種研究会」など多彩なプログラムを予定しています。

就職支援プログラム (主に学部3年次生・修士1年次生対象)

4月から就職ガイダンスを実施し、就職活動への心構えや就職支援プログラムのスケジュール等を確認しました。今後は就職講座やワークショップ等で、具体的な準備を進めていきます。第3クォーターには希望者に対し個別面談(スタート面談)を実施しますので、学生の皆さんはぜひ活用してください。

[9・10月の予定]

行事の詳細および11月以降の予定はWebページまたはPORTAに掲載します。

プログラム名	文系	プログラム名	理系
第2回就職ガイダンス※	9月18日(水) 25日(水)	第2回就職ガイダンス	9月25日(水)
就職講座6[自己PR・志望動機]	10月2日(水)	就職講座6[筆記試験対策]	10月2日(水)
就職講座7[業界・企業研究]	10月9日(水)	就職講座7[自己理解・自己PR]	10月9日(水)
就職講座8[筆記試験](文系のみ)	10月16日(水)	就職講座8[業界・職種研究]	10月16日(水)
就職講座9 [グループワーク・ディスカッションのポイント]	10月23日(水)	就職講座9 [志望動機・エントリーシートの書き方]	10月23日(水)
就職講座10 [ビジネスマナー・面接対策]	10月30日(水)	就職講座10[面接対策①]	10月30日(水)

※学部により実施日が異なります。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/index.html>



卒業後の進路が決まった学生の皆さんへお願い

「進路届」の提出および、「就職活動体験記」へのご協力をお願いいたします。「進路届」は進路が決まった時点で、全員提出が必要です。また、体験記は後輩の皆さんにとって何物にも代えがたい貴重な資料となりますので、ぜひご協力ください。

「進路届」は、キャリア支援室(Q棟2階)でお渡しします。また「就職活動体験記」作成要領およびフォーマットは下記Webページからダウンロードできます。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/news/009291.html>



南山のDNA



大島 龍
経済学部経済学科
2010年3月卒業

日本発のグローバル企業で、人々の生活・産業を支える一翼を担う

私は、お客様の保有する原子力発電所のアフターサービスに関わる業務を担当しています。発電所内の機器が故障したり点検が必要となった場合に、お客様に見積を提示し契約交渉を行っています。営業担当として、お客様はもちろん、社内エンジニアをはじめ関連部署の社員とも密にコミュニケーションをとることを大切にしています。社内エンジニアとの話し合いは、専門的な知識も必要になるため難しいこともありますが、出張を重ねる等してまずは自分がしっかり理解できるまで話を聞くようにしています。そして自分の言葉でお客様にご説明し、交渉がまとまった際には達成感を感じることが出来ます。

大学時代は、勉強と部活の両方に力を入れました。最も印象に残っている授業は3・4年次に受講していた生活経済学のゼミナールです。例えば、「スターバックスではどのサイズのコーヒーを買うべきか」というような、日常生活に馴染み深い経済学で、非常に興味深く学ぶことができました。また、第二言語として受講していたフランス語の授業や、キ

Profile

2010年4月に三菱重工株式会社に入社。神戸造船所 原子力営業部 プラント営業課に配属後、工場内のコストの取りまとめや新型炉の営業などを担当。現在は、パワードメイン 原子力事業部 関西支社 原子力サービス課で、営業担当として原子力発電所のアフターサービスに関わる業務に励む。

リスト教の授業も印象に残っています。1年次の冬には単身で1ヶ月の語学留学も経験し、学習意欲や英語力の向上にも繋げることができました。

部活は陸上競技部に所属しており、キャプテンも務めました。「強いチームが作りたい」との思いから、部員の意識を高めるために様々な工夫をしました。結果的に、多くの部員が自己ベストを更新でき、自身も未だに陸上部の歴代記録に名を残せていることは光栄に思っています。目標達成のためにマイルストーンを設定して練習に取り組んだ経験は、今の業務に必要な一つの案件をマネジメントする力に繋がっていると感じています。

このような勉強と部活の両方に打ち込んだ大学生活で培ったのは、コミュニケーション能力だと思っています。社会人になり、年齢や立場も異なる様々な方と一緒に仕事をしていくうえで、大学時代に学部・学科や性別、国籍の枠を超え色々な人と交流した経験が非常に生きています。興味や目指す業界も全く異なる他学部の友人に出会えたのは総合大学ならではの醍醐味だと思ひますし、そのような出会

いの機会をたくさん持てたのは県内有数の学生数を誇る南山大学ならではの醍醐味だと思ひます。これからも、大学時代に培ったこのコミュニケーション能力を武器に、人々の生活を支える職務の一翼を担うべく邁進していきたいと思ひます。



2019.3.9

南山エクステンション・カレッジ 公開講演会

3月9日に、R棟フラッテンホールで、南山エクステンション・カレッジ公開講演会を開催しました。今年度はロバート キャンベル氏(日本文学研究者、国文学研究資料館長、東京大学名誉教授)をお招きし、「『楽に生きる』ことを人はどう考えてきたか～西洋と日本との比較を通してみてくるものとは～」をテーマにご講演いただきました。

講演はキャンベル氏のバックグラウンドの紹介に始まり、江戸時代の随筆や夏目漱石『吾輩は猫である』の文章などを例にあげ、西洋化・近代化との比較を交えつつ、日本人に根づき、今も受け継がれている『楽』の思考について、わかりやすく、そして楽しくお話いただきました。

当日は、一般の方、学生、教職員など405名が来場し、盛況のうちに幕を閉じました。



2019.3.21

2018年度卒業式

3月21日に、体育館で2018年度卒業式を行い、2,281名(学部生2,217名、大学院生64名)の卒業生を送り出しました。

中部圏唯一の男女共学のカトリック系ミッションスクールである本学らしく、式典では「卒業感謝の祈り」として司祭による聖書朗読、各学部の代表学生による共同祈願などとともに学位記授与式が行われ、会場は厳粛な雰囲気になりました。

鳥巢義文学長は告辞において、『マタイによる福音書』の中から、「あなた方は地の塩である」、「あなた方は世の光である」という2つのキリストの言葉を贈りました。「塩味」という表現が私たちの「個性」や「ユニ



クさ」を意味しており、世の人々のために、自分の「光」、すなわち「持ち味」や「個性」を発揮することが求められていますとも述べました。

当日はインターネット(YouTube Live)で卒業式の模様を同時中継しました。

2019.3.31-2019.4.3

フレッシュマン祭

3月31日から4月3日までの4日間、フレッシュマン祭を開催しました。

新入生向けにクラブ・サークル紹介をするため、今年は約140団体がキャンパス内でチラシの配布やブース相談、教室やグラウンド、グリーンエリア等でのイベントを実施しました。



2019.4.1

2019年度入学式

4月1日に、体育館で2019年度入学式を行い、2,085名(学部生2,016名、大学院生69名)の入学者を迎えました。

鳥巢義文学長は告辞において、「これからの南山大学での学生生活において、目の前の物事や事象について、自ら『問う』こと、『問いかける』ことを大切にしてください。今日から勉学が始まりますが、自分自身の勉学の目標を問いかけてそれを『自覚』し、問うことによって見いだした課題を解決するために新しい仲間や教職員と切磋琢磨しながら『成長』し、そして相互に協力し、相手を尊重しあうことを通しての『円熟』を目指してください。」とメッセージを贈りました。

当日はインターネット(YouTube Live)で入学式の模様を同時中継しました。



2019.4.11

春の南山留学フェア

4月11日に、R63教室で春の南山留学フェアを開催しました。これは、南山大学の協定校(交換留学先の大学)を知ってもらうためのイベントで、現在、外国人留学生別科に在籍している外国人留学生が母校の様子を紹介したり、実際に留学したことがある日本人学生が相談に乗ったりしました。

今回は、13カ国(アメリカ、コロンビア、ペルー、オーストラリア、フランス、スペイン、ドイツ、チェコ、スウェーデン、イギリス、フィリピン、中国、韓国)42

大学のブースを設け、留学に興味のある学生が積極的に相談をしていました。



2019.5.6-2019.5.17

文化会フェスティバル

5月6日から5月17日に、文化会フェスティバル「BUN BUN FESTA 2019」を開催しました。これは、文化会所属のクラブが日頃の活動を紹介するイベントで、昼休みの時間帯にさまざまなクラブが登場しました。グリーンエリアでお茶会を開いたり、G30教室で演奏を行ったりと、多くの学生がイベントを楽しみました。



2019.5.8

体育会入会式

5月8日に、G30教室で体育会入会式を開催しました。これは、体育会所属の各クラブに入部した新入生のために行われるイベントです。南山大学体育会の一員であることを自覚し、心技体に磨きをかけてもらうべく、学長や学生部長、体育会執行委員長などから激励の言葉がありました。入会式の後、引き続き各クラブの新入生が今後に向けた決意を表明していました。



Special Events Schedule

2019.7.5-2019.7.7

第60回上南戦

7月5日から7月7日の3日間にわたり、第60回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦を上智大学で開催します。今年のスローガンは“Fight for Pride”です。南山選手団が南山生としての誇りと、上南戦の歴史を現在まで残してくれたOB・OGの誇りを胸に戦うという強い想いが込められています。ぜひ応援をよろしくお願いします。



2019.7.20-2019.7.21

オープンキャンパス

昨年は過去最高の8,500人を超える方にご来場いただきました。今年は7月20日(土)・21日(日)に開催します。模擬授業や学科説明会、学科の内容・入試・留学・就職などの相談コーナーだけでなく、在学生によるキャンパスツアーなどのさ



さまざまな企画を用意しています。ぜひご参加ください(予約不要)。

詳細は、大学Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。
<https://www.nanzan-u.ac.jp/opencampus/index.html>



2019.8.26-2019.8.27, 2019.8.29-2019.8.30

小・中学生向け講座「大学で、未来の自分を探してみよう！」

南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として小学生(4年生～6年生)・中学生を対象とし、右記の日程で体験型の講座を開催します。



◁:小学生対象、◇:中学生対象

- 8月26日(月) ● 考古者になりきろう!-縄文土器を研究する
- 8月27日(火) ◇ 電池のいらないラジオを作ろう
- ◇ 触って楽しむ博物館-人類学博物館の楽しみ方
- 8月29日(木) ● 有罪・無罪を決めるのは君だ!
- ◇ 民事裁判を体験しよう
- 8月30日(金) ● 新商品を考えよう
- 9月14日(土)* ◇ いろいろな国の留学生と楽しく交流しよう!
- ◇ 留学生と交流しながら探索する世界

※変更となる可能性があります。

2019.9.28

父母の集い

9月28日(土)に、父母の集いを開催します。学部生保証人の皆様に対し、本学における教育・研究をはじめ、留学や就職支援に関する取り組みについてご説明させていただく機会となっております。

また希望される方は、指導教員との個別面談(要事前申込)も実施しています。

※詳細は9月上旬に保証人様宛に送付する案内文書でご確認ください。



News

■ 本学卒業生が「ダカールラリー2019 ペルー」で準優勝

1月6日から17日(現地時間)にペルーで開催された「ダカールラリー2019 ペルー」の市販車部門において、本学法学部法律学科の卒業生でトヨタ車体株式会社 社員ドライバーの三浦昂さんが準優勝しました。

今回の大会は、競技区間の約7割が砂丘で、横転やスタックから抜け出せずリタイアする競技者も多く、完走率54%という厳しい大会でしたが、トヨタ車体株式会社から参戦したラリーチーム2台は、お互いにサポートしあい、すべてのステージで市販車部門の1位、2位を独占。ゴールまでその順位を堅守し、同部門ワン・ツーフィニッシュで6連覇を達成しました。

また、三浦さんのヘルメットには本学のロゴが貼られており、三浦さんと共にペルーの大地を駆け抜けました。



2019©TOYOTA AUTO BODY

■ キャンパス内を全面禁煙へ

2018年7月に、健康増進法を一部改正する法律が成立し、「望まない受動喫煙の防止」を一層図る施策が進められ、学校・病院等は「受動喫煙により健康を損なうおそれが高い者が主として利用される施設」として、敷地内禁煙が義務付けられています。この法律を受けて、本学も2019年7月1日よりキャンパス内を全面禁煙としました。皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



海外からのご来訪



2019.4.17

上海で南山大学中国事務所を運営する株式会社GESから、代表取締役の李 欣立氏および同社社員2名が、鳥巢学長を表敬訪問されました。今後の中国における留学生募集活動について意見交換を行いました。



■ 2018年度 学長表彰

卒業予定者のうち品行方正で、学業あるいは課外活動で特に優れた成績を修めた学生、または特に顕著な善行が在学中継続した学生30名に、その努力と栄誉を称え、学長から表彰盾を授与しました。

【人文学部】	7名	【法学部】	3名
【外国語学部】	7名	【総合政策学部】	4名
【経済学部】	3名	【理工学部】	3名
【経営学部】	3名		

■ 2019年度 学部長表彰

年度ごとに品行方正で学業に優れた成績を修めた学生121名に、その努力を称え学部長から表彰状を授与しました。

【人文学部】	21名	【法学部】	15名
【外国語学部】	21名	【総合政策学部】	16名
【経済学部】	15名	【理工学部】	12名
【経営学部】	15名	【国際教養学部】	6名

■ 学位

MANGGA, Stephanus 講師
外国語学部
Doctor in Humanities,
Faculty of Cultural Sciences
ガンジャ・マダ大学
2018年1月31日付

■ 名誉教授称号授与

次の3名の教授に対しその功績を称え、2019年4月1日付で名誉教授の称号を授与しました。

人文学部 丸山 徹 教授	外国語学部 SZIPPL, Richard 教授	短期大学部 山田泰広 教授
-----------------	-----------------------------	------------------



(中央)丸山 徹教授



(中央)SZIPPL, Richard教授



(中央)山田泰広教授

■ 退職

2019年3月31日付

- 人文学部
教授 TRUFAS, Ileana
教授 丸山 徹
教授 鹿島 央
教授 濱田 琢司
准教授 アッセマ庸代
准教授 早川 徳香
- 外国語学部
教授 SZIPPL, Richard
教授 小林 寧子
講師 中山 俊
- 経済学部
講師 CALANTAS, Teresita
講師 V. Bose, James
- 法学部
教授 長谷川 一年
講師 中田 裕子
- 総合政策学部
教授 松戸 武彦
准教授 成田 靖子
- 理工学部
教授 高見 勲
- 短期大学部
教授 山田 泰広
- 法務研究科
教授 清原 泰司
- 外国語教育センター
語学講師(L.I.) KJELDGAARD, Marie
語学講師(L.I.) MORRISH, Jaime
語学講師(L.I.) BLYTH, Andrew
語学講師(L.I.) FLORES, Ana Maria
語学講師(L.I.) WOOD, Joseph
- 体育教育センター
教授 榎本 鐘司
教授 平川 武仁
- 国際センター
講師 原由 紀恵
- 保健センター
助教 内田 亜希子

■ 新任用教員紹介

2019年4月1日付

- 人文学部
教授 上田 崇仁
(専攻分野: 日本語教育学、日本語教育史)
- 准教授 上峯 篤史
(専攻分野: 考古学、先史学、文化財科学)
- 准教授 福本 拓
(専攻分野: 人文地理学)
- 講師 清水 美佐
(専攻分野: ビザンティン美術史)
- 講師 平子 達也
(専攻分野: 言語学、国語学)
- 外国語学部
講師 齋藤 山人
(専攻分野: 18世紀フランス文学・思想)
- 講師 坂本 真一
(専攻分野: 言語学、ドイツ語学、外国語教育)
- 経済学部
准教授 稲垣 一之
(専攻分野: 国際金融論)
- 法学部
准教授 西村 邦行
(専攻分野: 政治思想史、国際政治学)
- 総合政策学部
准教授 大八木 英夫
(専攻分野: 環境学、地理学)
- 講師 狭間 諒多朗
(専攻分野: 社会学、社会調査法)
- 法務研究科
教授 深川 裕佳
(専攻分野: 民法)
- 外国語教育センター
語学講師(L.I.) TAYLOR, Jamie
(専攻分野: 英語教育)
- 語学講師(L.I.) TIDMARSH, Andrew
(専攻分野: 英語教育)
- 語学講師(L.I.) OLIVERO, Régis
(専攻分野: フランス語教育)
- 体育教育センター/経済学部
准教授 加藤 孝基
(専攻分野: スポーツ神経科学、運動生理学)
- 体育教育センター/人文学部
講師 笹川 慶
(専攻分野: 体育学、スポーツバイオメカニクス)
- 南山宗教文化研究所
講師 斎藤 喬
(専攻分野: 宗教学、表象文化論、ホラー研究)
- 保健センター
助教 高科 沙知
(専攻分野: 臨床心理学)
- 助教 竹本 美穂
(専攻分野: 臨床心理学)

2019年6月1日付

- 国際センター
特別任用講師 山田 貴将
(専攻分野: 第二言語習得論、英語教育論、異文化間コミュニケーション論)

■ 寄附者ご芳名 「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

望月 実信様	佐藤 枝里様	野々部 孝様	松島 安男様	兵藤 雅己様
森田 玲子様	諸岡 雅仁様	高士 結衣様	青山 顕様	濱田 琢司様
金子 直子様	古山 美保様	多田 和夫様	白水 美希様	
竹田 幸生様	浅野 浩様	杉山 雄彦様	早川 晋司様	
武井 敬様	麻生 靖雄様	池田 勇治様	今西 ロザリア様	匿名ご希望者 13名様
三輪 宏和様	北島 智子様	西本 信治様	神野 友理奈様	

岡谷鋼機株式会社
取締役社長 岡谷 篤一様

南山経済人クラブ様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

物質文化研究会
代表 後藤 明様

■ 本学名誉教授 岩見恒典氏のご逝去

本学名誉教授の岩見恒典氏(84歳)が、2019年2月26日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

